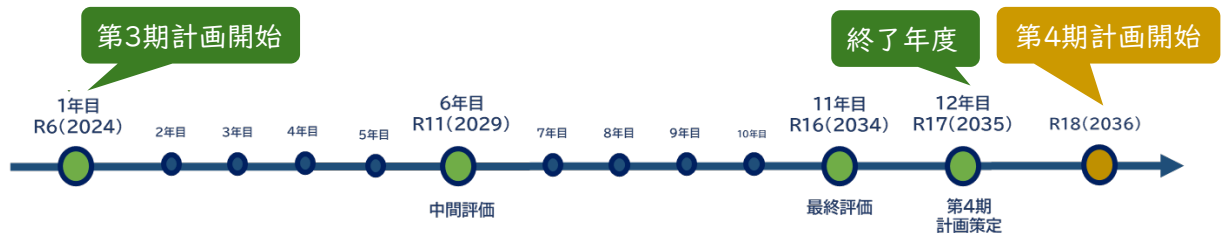


第3期健康横浜 2 1 ベースライン値に係る報告について (最終成果指標・中間成果指標・直接成果指標)

1 第3期健康横浜 2 1 の評価スケジュール

本計画は、令和 6 年度から令和 17 年度までの 12 年間を計画期間としたものですが、効果的に取組を進めるため、令和 11 年度に中間評価を行い、計画の進捗状況を確認し、把握された課題を踏まえ計画後半の取組を強化します。計画最終年度の前年度である令和 16 年度には計画の最終評価を行い、次期計画の策定に生かします。



2 ベースライン値の設定

本計画では、令和 5 年度の策定作業時に把握できる直近値を基に目標値を設定していますが、計画期間中の取組の状況进行评估するため、今回新たに、計画開始前の状況を把握できるデータの最新値を「ベースライン値」として設定しました（資料 3 - 2）。

3 ベースライン値が目標値を上回っている指標について

今回把握したベースライン値が、すでに第 3 期計画で設定している目標値を上回っている項目が複数ありました（資料 3 - 2 において「ベースライン値」が黄色セルのもの）。主な要因としては、以下の点が挙げられます。なお、ベースライン値を踏まえた目標値の変更については、今後の状況を注視しつつ、中間評価のタイミングにて改めて検討を行います。

(1) 「健康に関する市民意識調査」の対象者抽出方法の変更によるもの

令和 2 年度と令和 5 年度では、調査対象者の抽出方法に違いがありました。令和 5 年度においては、住民基本台帳からの無作為抽出に限定した方法を採用したことにより、回答者に健康意識の高い層が多く含まれ、その結果として、目標値を上回った可能性があります。

調査年度	対象者の抽出方法	回収数
R2	・ インターネット調査会社に登録している横浜市内在住のモニターにアンケート依頼を配信（市内在住 20～59 歳男女）	10,981 人
	・ 住民基本台帳からの無作為抽出（市内在住 60～69 歳男女）	1,493 人
R5	住民基本台帳からの無作為抽出（市内在住 20～69 歳男女）	6,600 人

(2) 新型コロナウイルスの影響によるもの

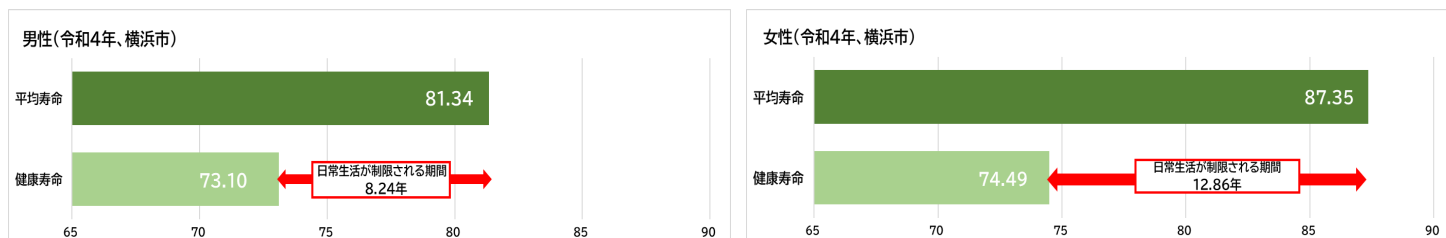
令和 2 年度から令和 4 年度にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活に多くの制約が生じました。そのため、コロナ禍に実施された調査と令和 5 年度以降に実施された調査では、回答傾向に一定の変化が見られたものと考えます。特に、「運動やスポーツをすることが好きな子どもの割合」については、コロナ禍の影響を大きく受けた項目であり、結果として目標値を上回った可能性があると考えられます。

4 健康寿命について

「第3期健康横浜21」における最終目標は、「健康寿命の延伸」としております。「健康寿命」とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均のことを指します。

(1) 令和4年 健康寿命を算出

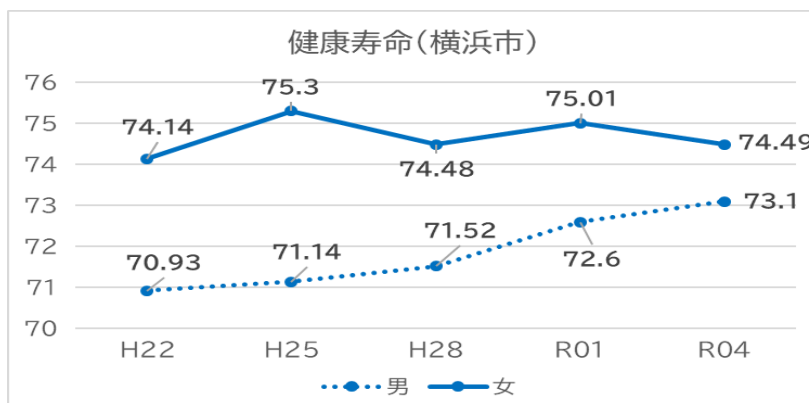
厚生労働省研究班「健康寿命算出プログラム」を用いて、本市で独自に算出したので、報告いたします。



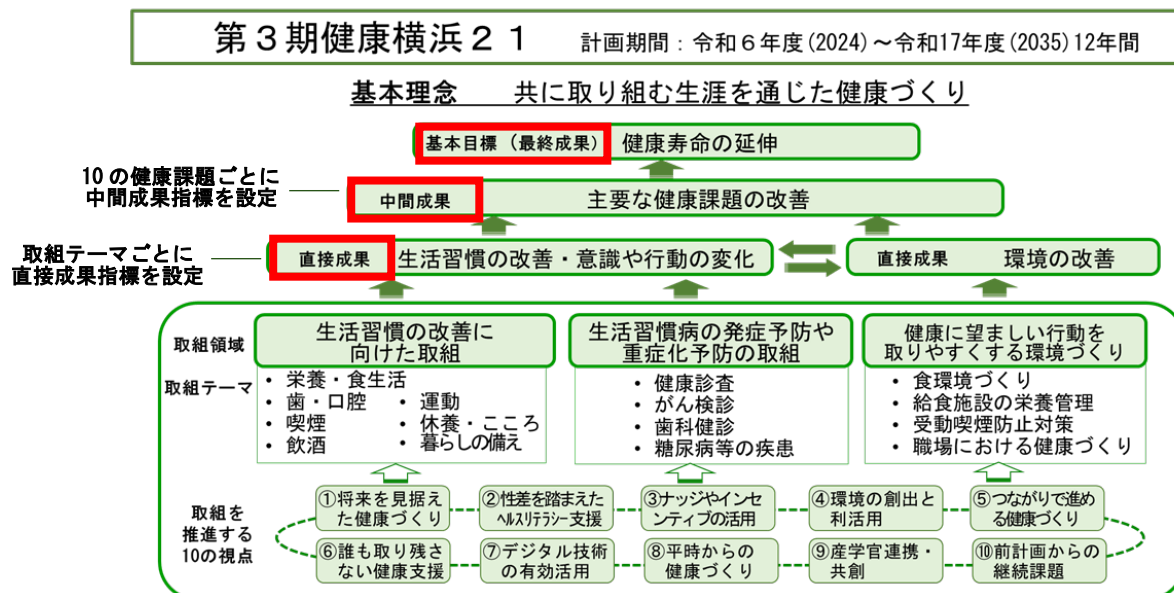
(2) 男性の健康寿命は延伸、女性の健康寿命は短縮

男性の健康寿命は、延伸していますが、女性は短縮しております。なお、都道府県別の健康寿命を国が算出していますが、神奈川県が都道府県の中でワースト3位という結果でした。

女性の健康寿命が短縮している要因について、横浜市立大学と連携し分析を進めております。また、女性の健康づくり推進検討部会を令和6年度末に新設し、具体的な取組検討しています。



<参考（第3期健康横浜21体系図）>



第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値				ベースライン値				目標値					
						直近値	N数-直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	ベースライン値	N数-ベースライン値	西暦-ベースライン値	和暦-ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
1	最終成果	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均	男性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	72.60	1843588	2019	R01	73.10	1808605	2022	R04	73.70	以上	2031	R13	増加	健康寿命延伸プランの目標の考え方による
2	最終成果	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間の平均	女性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	75.01	1874828	2019	R01	74.49	1864635	2022	R04	76.42	以上	2031	R13	増加	健康寿命延伸プランの目標の考え方による
3	最終成果	健康寿命(補完的指標)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	男性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	-0.07	1843588	2019	R01	1.12	1808605	2022	R04	0.01	以上	2031	R13	増加	国等と同値
4	最終成果	健康寿命(補完的指標)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	女性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	-0.13	1874828	2019	R01	-0.21	1864635	2022	R04	0.01	以上	2031	R13	増加	国等と同値
5	最終成果	健康寿命(補完的指標)	自分が健康であると自覚している期間の平均	男性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	73.70	1843588	2019	R01	73.56	1808605	2022	R04	—		2031	R13	増加	—
6	最終成果	健康寿命(補完的指標)	自分が健康であると自覚している期間の平均	女性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	76.03	1874828	2019	R01	76.45	1864635	2022	R04	—		2031	R13	増加	—
7	最終成果	健康寿命(補完的指標)	日常生活動作が自立している期間の平均(介護保険データによる平均自立期間)	男性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	80.25	61176	2021	R03	79.74	35485	2023	R05	—		2031	R13	増加	—
8	最終成果	健康寿命(補完的指標)	日常生活動作が自立している期間の平均(介護保険データによる平均自立期間)	女性	厚生労働省研究班「健康寿命算定プログラム」を用いて独自算出	84.16	117798	2021	R03	83.94	68531	2023	R05	—		2031	R13	増加	—
9	中間成果	①生活習慣病の予防を通じた早世の減少	心血管疾患、がん、糖尿病、慢性の呼吸器系疾患に関する若年(30～69歳)年齢調整死亡率	全体	人口動態統計より独自算出	207.4	2004503	2021	R03	207.6	1991219	2023	R05	—		2031	R13	減少	—
10	中間成果	①生活習慣病の予防を通じた早世の減少	心血管疾患、がん、糖尿病、慢性の呼吸器系疾患に関する若年(30～69歳)年齢調整死亡率	男性	人口動態統計より独自算出	270.4	1025135	2021	R03	269.8	1017369	2023	R05	—		2031	R13	減少	—
11	中間成果	①生活習慣病の予防を通じた早世の減少	心血管疾患、がん、糖尿病、慢性の呼吸器系疾患に関する若年(30～69歳)年齢調整死亡率	女性	人口動態統計より独自算出	143.4	979368	2021	R03	144.1	973850	2023	R05	—		2031	R13	減少	—
12	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	男性のメタボリックシンドローム判定の割合	男性	横浜市民健康保険特定健診法定報告	31.4	46962	2021	R03	31.9	48405	2023	R05	—		2029	R11	減少	—
13	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	男性のBMIの平均値	男性	NDBオープンデータ	24.3	468909	2020	R02	R08に調査結果	R08に調査結果	2023	R05	—		2029	R11	減少	—
14	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	男性のLDLコレステロールの平均値	男性	NDBオープンデータ	127.5	467373	2020	R02	R08に調査結果	R08に調査結果	2023	R05	—		2029	R11	減少	—
15	中間成果	②男性の肥満や脂質異常症の改善	男性のLDLコレステロールの要保健指導判定値(120以上)の人の割合	男性	NDBオープンデータ	58.7	467373	2020	R02	R08に調査結果	R08に調査結果	2023	R05	—		2029	R11	減少	—
16	中間成果	③女性の乳がんの死亡率の減少	女性の乳がんの75歳未満年齢調整死亡率	女性	人口動態統計より独自算出	17.3	1608788	2021	R03	16	1592147	2023	R05	—		2031	R13	減少	—
17	中間成果	③女性の乳がんの死亡率の減少	女性の乳がんの標準化死亡比	女性	人口動態統計より独自算出	1.168	16697	2016～2020	H28～R02	R08に調査結果	R08に調査結果	2018～2023	R01～R05	—		2026～2030	R08～R12	減少	—
18	中間成果	④糖尿病の重症化の予防	HbA1c8.0%以上の人の割合		NDBオープンデータ	1.25	696383	2020	R02	R08に調査結果	R08に調査結果	2023	R05	—		2029	R11	減少	—
19	中間成果	⑤喫煙・受動喫煙の減少	COPD(慢性閉塞性肺疾患)の年齢調整死亡率		人口動態統計より独自算出	10.5	3759920	2021	R03	9.1	3753631	2023	R05	—		2031	R13	減少	—
20	中間成果	⑥歯周炎の予防と改善	40歳以上における歯周炎を有する者の割合(年齢調整値)		県民歯科保健実態調査 横浜市区分	65.3	1564	2020	R02	R07に調査結果	R07に調査結果	2024	R06	—		2032	R14	減少	—

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値				ベースライン値				目標値					
						直近値	N数-直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	ベースライン値	N数-ベースライン値	西暦-ベースライン値	和暦-ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
21	中間成果	⑦腰痛の予防と改善	腰痛が1か月以上継続している人の割合		健康に関する市民意識調査	28.2	6545	2023	R05	28.2	6545	2023	R05	—		2032	R14	減少	—
22	中間成果	⑧骨折・転倒により介護が必要な状態となることの減少	骨折・転倒が主な原因で介護保険要支援となった人の割合		横浜市長高齢者実態調査	19.7	547	2022	R04	19.7	547	2022	R04	—		2031	R13	減少	—
23	中間成果	⑨高齢期の不慮の事故による死亡率の減少	不慮の溺死及び溺水の年齢調整死亡率		人口動態統計より独自算出	12.2	3759920	2021	R03	14.2	3753631	2023	R05	—		2031	R13	減少	—
24	中間成果	⑨高齢期の不慮の事故による死亡率の減少	収縮期血圧が受診勧奨値(140以上)の高齢期等(60～74歳)の人の割合		NDBオープンデータ	24.6	53803	2020	R02	R08に調査結果	R08に調査結果	2023	R05	—		2029	R11	減少	—
25	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙: K6で10点以上)	全体	こころの健康に関する市民意識調査	16.9	1791	2022	R04	16.9	1791	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
26	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙: K6で10点以上)	20～39歳男性	こころの健康に関する市民意識調査	28.0	161	2022	R04	28.0	161	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
27	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙: K6で10点以上)	20～39歳女性	こころの健康に関する市民意識調査	24.2	248	2022	R04	24.2	248	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
28	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙: K6で10点以上)	40～64歳男性	こころの健康に関する市民意識調査	15.0	380	2022	R04	15.0	380	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
29	中間成果	⑩成人期・壮年期のメンタルヘルスの向上	心理的苦痛を感じている人の割合(うつ・不安症状を評価する自己記入式質問紙: K6で10点以上)	40～64歳女性	こころの健康に関する市民意識調査	17.2	541	2022	R04	17.2	541	2022	R04	—		2032	R14	減少	—
30	直接成果	栄養・食生活	朝食を欠食する小・中学生の割合		横浜市長食育目標に関する調査 横浜市長食事にに関する調査	8.4	4100	2022	R04	7.8	4051	2023	R05	0		2032	R14	減少	国等と同値
31	直接成果	栄養・食生活	食に関心をもち、自ら健全な食生活を実践しようとしている児童生徒の割合	小学校	横浜市長食育目標に関する調査 横浜市長食事にに関する調査	92.0	19875	2022	R04	91.3	21836	2023	R05	90 (R8 概算計画決定に合わせて見直し予定)	以上	2025	R07	増加	国等と同値
32	直接成果	栄養・食生活	食に関心をもち、自ら健全な食生活を実践しようとしている児童生徒の割合	中学校	横浜市長食育目標に関する調査 横浜市長食事にに関する調査	88.9	33358	2022	R04	88.9	30696	2023	R05	90	以上	2025	R07	増加	国等と同値
33	直接成果	栄養・食生活	朝食を欠食する若い世代(20～30代)の割合	全体	健康に関する市民意識調査	27.1	3472	2020	R02	30.9	1666	2023	R05	15	以下	2032	R14	減少	国等と同値
34	直接成果	栄養・食生活	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上 ほぼ毎日食べている市民の割合	全体	健康に関する市民意識調査	34.3	12450	2020	R02	45.6	6572	2023	R05	50	以上	2032	R14	増加	国等と同値
35	直接成果	栄養・食生活	1日あたりの野菜摂取量の平均値		国民健康・栄養調査	291	483	2017～2019	H29～R01	R08に調査結果	R08に調査結果	2022`2024	R04`R06	350	以上	2030～2032	R12～R14	増加	国等と同値
36	直接成果	栄養・食生活	1日あたりの食塩摂取量の平均値		国民健康・栄養調査	9.9	483	2017～2019	H29～R01	R08に調査結果	R08に調査結果	2022`2024	R04`R06	7	未満	2030～2032	R12～R14	減少	国等と同値
37	直接成果	栄養・食生活	家庭で体重を測定する習慣のある者(週に1回以上)の割合(20歳以上)	全体	健康に関する市民意識調査	52.4	12440	2020	R02	41.0	6569	2023	R05	58	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
38	直接成果	栄養・食生活	20～60代男性の肥満(BMI25以上)の者の割合		健康に関する市民意識調査	30.4	2953	2023	R05	30.4	2953	2023	R05	30	未満	2032	R14	減少	国等と同値
39	直接成果	栄養・食生活	40～60代女性の肥満(BMI25以上)の者の割合		健康に関する市民意識調査	15.4	2551	2023	R05	15.4	2551	2023	R05	15	未満	2032	R14	減少	国等と同値
40	直接成果	栄養・食生活	20～30代女性のやせ(BMI18.5未満)の者の割合		健康に関する市民意識調査	16.9	878	2023	R05	16.9	878	2023	R05	15	未満	2032	R14	減少	国等と同値

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値				ベースライン値				目標値					
						直近値	N数-直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	ベースライン値	N数-ベースライン値	西暦-ベースライン値	和暦-ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
41	直接成果	栄養・食生活	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者(65歳以上)の割合		国民健康・栄養調査	24.2	165	2017～2019	H29～R01	R08に調査結果	R08に調査結果	2022`2024	R04`R06	13	未満	2030～2032	R12～R14	減少	国等と同値
42	直接成果	歯・口腔	3歳児でむし歯のない者の割合	全体	地域保健・健康増進事業報告	94.8	25373	2022	R04	94.9	24662	2023	R05	90→95 (議事(2)のとおり)	以上	2024	R06	増加	国等と同値
43	直接成果	歯・口腔	3歳児で4本以上のむし歯のある者の割合	全体	地域保健・健康増進事業報告	1	25373	2022	R04	1	24662	2023	R05	0		2032	R14	減少	国等と同値
44	直接成果	歯・口腔	12歳児でむし歯のない者の割合	全体	神奈川県・定期歯科健診結果に関する調査	68.7	24852	2021	R03	79.9	24278	2023	R05	72.2	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
45	直接成果	歯・口腔	中学生における歯肉に異常のある者の割合	全体	神奈川県・定期歯科健診結果に関する調査	16.4	73284	2021	R03	20.9	71900	2023	R05	15.5	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
46	直接成果	歯・口腔	20歳以上における未処置歯を有する者の割合(年齢調整値)	全体	県民歯科保健実態調査 横浜市分	23.0	2248	2020	R02	R07把握予定	R07把握予定	2024	R06	20	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
47	直接成果	歯・口腔	40歳以上における自分の歯が19歯以下の者の割合(年齢調整値)	全体	県民歯科保健実態調査 横浜市分	18.4	1900	2020	R02	R07把握予定	R07把握予定	2024	R06	15	以下	2032	R14	減少	b.2年分以上データあり悪化傾向
48	直接成果	歯・口腔	20代～60代における「オーラルフレイル」の言葉を知っている者の割合	全体	健康に関する市民意識調査	17.5	12422	2020	R02	26.6	6514	2023	R05	20	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
49	直接成果	歯・口腔	50歳以上におけるなんでも噛んで食べることのできる者の割合(年齢調整値)	全体	県民歯科保健実態調査 (横浜市分)	71.8	1586	2020	R02	R07把握予定	R07把握予定	2024	R06	80	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
50	直接成果	歯・口腔	80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合	全体	県民歯科保健実態調査 横浜市分	55.6	381	2020	R02	R07把握予定	R07把握予定	2024	R06	60	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
51	直接成果	喫煙	20歳未満と同居する者の喫煙率	全体	健康に関する市民意識調査	18.6	4556	2020	R02	13.7	2339	2023	R05	14	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
52	直接成果	喫煙	20歳未満と同居する者の喫煙率	男性	健康に関する市民意識調査	25.9	2440	2020	R02	25.0	1025	2023	R05	19	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
53	直接成果	喫煙	20歳未満と同居する者の喫煙率	女性	健康に関する市民意識調査	10.1	2115	2020	R02	4.8	1292	2023	R05	9	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
54	直接成果	喫煙	20代の喫煙率	全体	国民生活基礎調査(横浜 市分)	12.7	221	2022	R04	12.7	221	2022	R04	8	以下	2031	R13	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
55	直接成果	喫煙	20代の喫煙率	男性	国民生活基礎調査(横浜 市分)	20.0	110	2022	R04	20.0	110	2022	R04	14	以下	2031	R13	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
56	直接成果	喫煙	20代の喫煙率	女性	国民生活基礎調査(横浜 市分)	6.3	111	2022	R04	6.3	111	2022	R04	2	以下	2031	R13	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
57	直接成果	喫煙	喫煙者のうちタバコを今すぐやめた人の割合		健康に関する市民意識調査	11.3	2489	2020	R02	8.7	1000	2023	R05	11.3	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
58	直接成果	喫煙	20歳以上の喫煙率	全体	国民生活基礎調査(横浜 市分)	13.1	2652	2022	R04	13.1	2652	2022	R04	12	以下	2031	R13	減少	国等と同値
59	直接成果	喫煙	20歳以上の喫煙率	男性	国民生活基礎調査(横浜 市分)	19.7	1297	2022	R04	19.7	1297	2022	R04	18.5	以下	2031	R13	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
60	直接成果	喫煙	20歳以上の喫煙率	女性	国民生活基礎調査(横浜 市分)	6.6	1355	2022	R04	6.6	1355	2022	R04	5.5	以下	2031	R13	減少	a.2年分以上データあり改善傾向

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値				ベースライン値				目標値					
						直近値	N数-直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	ベースライン値	N数-ベースライン値	西暦-ベースライン値	和暦-ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
61	直接成果	飲酒	習慣的に飲酒をしていない(週2日以下)20代の割合	全体	健康に関する市民意識調査	86.0	1026	2020	R02	89.6	715	2023	R05	92	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
62	直接成果	飲酒	習慣的に飲酒をしていない(週2日以下)20代の割合	男性	健康に関する市民意識調査	80.2	369	2020	R02	88.7	334	2023	R05	83	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
63	直接成果	飲酒	習慣的に飲酒をしていない(週2日以下)20代の割合	女性	健康に関する市民意識調査	89.2	657	2020	R02	90.4	372	2023	R05	96	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
64	直接成果	飲酒	飲酒習慣する人のうち、1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	男性	健康に関する市民意識調査	16.4	6798	2020	R02	17.9	2995	2023	R05	12	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
65	直接成果	飲酒	飲酒習慣する人のうち、1日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者の割合	女性	健康に関する市民意識調査	13.5	5654	2020	R02	15.4	3536	2023	R05	8	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
66	直接成果	飲酒	毎日飲酒する者の割合		健康に関する市民意識調査	16.2	12453	2020	R02	15.6	6588	2023	R05	14	以下	2032	R14	減少	a.2年分以上データあり改善傾向
67	直接成果	運動	週3回以上、授業以外に運動やスポーツをする子どもの割合	小・中学生	横浜市体力運動能力調査	40.9→43.2 (算出方法修正による変更)	170102	2022	R04	44.8	193364	2023	R05	50	以上	2032	R14	増加	国等と同値
68	直接成果	運動	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな子どもの割合	小学男子	スポーツ庁全国体力運動調査	69.9	13066	2022	R04	72.5	13696	2023	R05	71	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
69	直接成果	運動	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな子どもの割合	小学女子	スポーツ庁全国体力運動調査	54.7	12657	2022	R04	56.1	13432	2023	R05	55	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
70	直接成果	運動	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな子どもの割合	中学男子	スポーツ庁全国体力運動調査	63.0	9639	2022	R04	65.7	10075	2023	R05	65	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
71	直接成果	運動	運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きな子どもの割合	中学女子	スポーツ庁全国体力運動調査	45.4	9106	2022	R04	43.9	9626	2023	R05	46	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
72	直接成果	運動	健康のために、意識して体を動かしたり、運動したりしている市民の割合		健康に関する市民意識調査	52.9	12420	2020	R02	58.6	6582	2023	R05	65	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
73	直接成果	運動	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	全体	国民健康・栄養調査	46.4	276	2017～2019	H29～R01	R07に調査結果	R07に調査結果	2022～2024	R04～R06	50	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
74	直接成果	運動	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	男性	国民健康・栄養調査	49.6	117	2017～2019	H29～R01	R07に調査結果	R07に調査結果	2022～2024	R04～R06	55	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
75	直接成果	運動	20～64歳で1日の歩数が8,000歩以上の人の割合	女性	国民健康・栄養調査	44.0	159	2017～2019	H29～R01	R07に調査結果	R07に調査結果	2022～2024	R04～R06	45	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
76	直接成果	運動	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	全体	国民健康・栄養調査	39.2	181	2017～2019	H29～R01	R07に調査結果	R07に調査結果	2022～2024	R04～R06	48	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
77	直接成果	運動	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	男性	国民健康・栄養調査	44.2	86	2017～2019	H29～R01	R07に調査結果	R07に調査結果	2022～2024	R04～R06	50	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
78	直接成果	運動	65歳以上で1日の歩数が6,000歩以上の人の割合	女性	国民健康・栄養調査	34.7	95	2017～2019	H29～R01	R07に調査結果	R07に調査結果	2022～2024	R04～R06	46	以上	2030～2032	R12～R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
79	直接成果	運動	座ったり寝転がったりして過ごす時間が長い人の割合	全体	健康に関する市民意識調査	49.5	6480	2023	R05	49.5	6480	2023	R05	47	以下	2032	R14	減少	c.1年分のみデータあり
80	直接成果	運動	20～64歳で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む)を1年間継続している者の割合	全体	健康に関する市民意識調査	26.9	11640	2020	R02	46.2	3246	2023	R05	30	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

						直近値				ベースライン値				目標値					
NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値	N数-直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	ベースライン値	N数-ベースライン値	西暦-ベースライン値	和暦-ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
81	直接成果	運動	20～64歳で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む)を1年間継続している者の割合	男性	健康に関する市民意識調査	30.4	6404	2020	R02	51.8	1553	2023	R05	35	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
82	直接成果	運動	20～64歳で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む)を1年間継続している者の割合	女性	健康に関する市民意識調査	22.7	5236	2020	R02	41.1	1693	2023	R05	25	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
83	直接成果	運動	65歳以上で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む)を1年間継続している者の割合	全体	健康に関する市民意識調査	44.1	748	2020	R02	52.2	548	2023	R05	50	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
84	直接成果	運動	65歳以上で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む)を1年間継続している者の割合	男性	健康に関する市民意識調査	41.2	371	2020	R02	50.8	256	2023	R05	50	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
85	直接成果	運動	65歳以上で、1回30分・週に2回以上の運動(同等のものを含む)を1年間継続している者の割合	女性	健康に関する市民意識調査	46.9	377	2020	R02	53.4	292	2023	R05	50	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
86	直接成果	休養・こころ	1日の睡眠時間が6時間未満の小中学生の割合	小学5年生男子	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	6.9	11865	2022	R04	6.7	9842	2023	R05	5	以下	2032	R14	減少	b.2年分以上データあり悪化傾向
87	直接成果	休養・こころ	1日の睡眠時間が6時間未満の小学5年生の割合	小学5年生女子	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	5.5	11741	2022	R04	5.2	9541	2023	R05	5	以下	2032	R14	減少	b.2年分以上データあり悪化傾向
88	直接成果	休養・こころ	ぐっすり眠ることができる日が週6日以上の小中学生の割合	小学5年生男子	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	58.9	11865	2022	R04	60.9	9842	2023	R05	65	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
89	直接成果	休養・こころ	ぐっすり眠ることができる日が週6日以上の小中学生の割合	小学5年生女子	横浜市立小中学校児童生徒の体力・運動能力調査	59.1	11741	2022	R04	60.6	9541	2023	R05	65	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向
90	直接成果	休養・こころ	睡眠で休養が取れている人の割合	20～59歳男性	健康に関する市民意識調査	70.3	6081	2020	R02	72.0	2226	2023	R05	75	以上	2032	R14	増加	国等と同値
91	直接成果	休養・こころ	睡眠で休養が取れている人の割合	20～59歳女性	健康に関する市民意識調査	70.2	4904	2020	R02	69.0	2642	2023	R05	75	以上	2032	R14	増加	国等と同値
92	直接成果	休養・こころ	睡眠で休養が取れている人の割合	60代全体	健康に関する市民意識調査	81.2	1460	2020	R02	75.9	1612	2023	R05	90	以上	2032	R14	増加	国等と同値
93	直接成果	休養・こころ	睡眠時間が6～9時間の人の割合	20～59歳男性	健康に関する市民意識調査	74.7	2226	2023	R05	74.7	2226	2023	R05	75	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
94	直接成果	休養・こころ	睡眠時間が6～9時間の人の割合	20～59歳女性	健康に関する市民意識調査	73.4	2641	2023	R05	73.4	2641	2023	R05	75	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
95	直接成果	休養・こころ	睡眠時間が6～8時間の人の割合	60歳全体	健康に関する市民意識調査	65.0	1615	2023	R05	65.0	1615	2023	R05	65	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
96	直接成果	休養・こころ	悩みやストレスがあるが相談できないでいる人の割合	15～64歳	国民生活基礎調査(横浜市区分)	6.5	843	2022	R04	6.5	843	2022	R04	4.5	以下	2031	R13	減少	b.2年分以上データあり悪化傾向
97	直接成果	休養・こころ	横浜健康経営認証事業所のうちメンタルヘルスに取り組んでいる事業所の割合		横浜健康経営認証申請時アンケート	61.8	557	2023	R05	61.8	557	2023	R05	70	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
98	直接成果	休養・こころ	周囲の人々とは、お互い困った時には助け合えると思う人の割合		健康に関する市民意識調査	79.2	6540	2023	R05	79.2	6540	2023	R05	85	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
99	直接成果	休養・こころ	地域の人々とかかわりを持とうと思う人の割合		健康に関する市民意識調査	49.1	12451	2020	R02	55.5	6553	2023	R05	55.5	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向
100	直接成果	休養・こころ	地域の人々とのつながりが強いと思う人の割合		健康に関する市民意識調査	35.6	6539	2023	R05	35.6	6539	2023	R05	45	以上	2032	R14	増加	国等と同値

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値				ベースライン値				目標値					
						直近値	N数-直近値	西暦-直近値	和暦-直近値	ベースライン値	N数-ベースライン値	西暦-ベースライン値	和暦-ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦-目標値	和暦-目標値	目標の方向	目標値の設定方法
101	直接成果	暮らしの備え	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合	解熱鎮痛剤等の常備薬	健康に関する市民意識調査	20.0	12474	2020	R02	28.8	6573	2023	R05	30	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
102	直接成果	暮らしの備え	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合	服用中の薬	健康に関する市民意識調査	5.2	12474	2020	R02	17.9	6573	2023	R05	10	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
103	直接成果	暮らしの備え	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合	口腔ケア用品	健康に関する市民意識調査	19.6	12474	2020	R02	32.5	6573	2023	R05	30	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
104	直接成果	暮らしの備え	健康を維持するための災害時の備えをしている人の割合	体温計	健康に関する市民意識調査	30.1	6573	2023	R05	30.1	6573	2023	R05	35	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
105	直接成果	暮らしの備え	いつでもどこでも実施できる体操やストレッチ等の実施を習慣にしている人の割合		健康に関する市民意識調査	44.6	6544	2023	R05	44.6	6544	2023	R05	47	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
106	直接成果	暮らしの備え	ヒートショックの予防方法を知っている人の割合		健康に関する市民意識調査	94.9	6564	2023	R05	94.9	6564	2023	R05	70→94.9 (R7.3/25 推進会議で承認済)	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
107	直接成果	暮らしの備え	自宅で血圧を毎日測定する習慣のある人の割合	60代全体	健康に関する市民意識調査	20.5	1432	2020	R02	25.9	1630	2023	R05	29.5	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
108	直接成果	暮らしの備え	過去1年間に転倒したことがある高齢者の割合	要支援・要介護認定のない65歳以上	横浜市長高齢者実態調査	21.7	2733	2022	R04	21.7	2733	2022	R04	18.5	以下	2031	R13	減少	b.2年分以上データあり悪化傾向
109	直接成果	暮らしの備え	横浜健康経営認証事業所のうち腰痛予防に取り組んでいる事業所の割合		横浜健康経営認証申請時アンケート	32.5	557	2023	R05	32.5	557	2023	R05	35	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
110	直接成果	健康診査	特定健診受診率(40歳以上の横浜市国民健康保険加入者)	全体	横浜市国民健康保険特定健診法定報告	26.0	432630	2022	R04	28.1	411822	2023	R05	40.5	以上	2029	R11	増加	国等と同値
111	直接成果	健康診査	75歳の市健康診査受診率		独自算出	13.7	38848	2021	R03	19.9	52936	2023	R05	24.1	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり
112	直接成果	がん検診	胃がん検診受診率(50～69歳の過去2年間)	全体	国民生活基礎調査(横浜市区分)	50.2	951	2022	R04	50.2	951	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
113	直接成果	がん検診	胃がん検診受診率(50～69歳の過去2年間)	男性	国民生活基礎調査(横浜市区分)	57.1	471	2022	R04	57.1	471	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
114	直接成果	がん検診	胃がん検診受診率(50～69歳の過去2年間)	女性	国民生活基礎調査(横浜市区分)	43.6	477	2022	R04	43.6	477	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
115	直接成果	がん検診	肺がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	全体	国民生活基礎調査(横浜市区分)	49.2	1328	2022	R04	49.2	1328	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
116	直接成果	がん検診	肺がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	男性	国民生活基礎調査(横浜市区分)	54.8	652	2022	R04	54.8	652	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
117	直接成果	がん検診	肺がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	女性	国民生活基礎調査(横浜市区分)	43.9	675	2022	R04	43.9	675	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
118	直接成果	がん検診	大腸がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	全体	国民生活基礎調査(横浜市区分)	48.6	1328	2022	R04	48.6	1328	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
119	直接成果	がん検診	大腸がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	男性	国民生活基礎調査(横浜市区分)	52.0	652	2022	R04	52.0	652	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値
120	直接成果	がん検診	大腸がん検診受診率(40～69歳の過去1年間)	女性	国民生活基礎調査(横浜市区分)	45.6	675	2022	R04	45.6	675	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値

第3期健康横浜21 指標・目標値 一覧表

資料3-2

						直近値				ベースライン値				目標値						
NO	評価項目	課題・取組テーマ	指標	(区分)	出典	直近値	N数・直近値	西暦・直近値	和暦・直近値	ベースライン値	N数・ベースライン値	西暦・ベースライン値	和暦・ベースライン値	目標値(目標)	向き	西暦・目標値	和暦・目標値	目標の方向	目標値の設定方法	
121	直接成果	がん検診	乳がん検診受診率(40～69歳の過去2年間)	女性	国民生活基礎調査(横浜市分)	50.5	675	2022	R04	50.5	675	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値	
122	直接成果	がん検診	子宮頸がん検診受診率(20～69歳の過去2年間)	女性	国民生活基礎調査(横浜市分)	43.6	896	2022	R04	43.6	896	2022	R04	60	以上	2028	R10	増加	国等と同値	
123	直接成果	歯科健診	妊婦歯科健康診査受診率	女性	地域保健・健康増進事業報告	43.6	23785	2022	R04	44.5	22954	2023	R05	40→50 (議事(2)のとおり)	以上	2024	R06	増加	国等と同値	
124	直接成果	歯科健診	20代～60代における過去1年間に歯科健診を受けた者の割合	全体	健康に関する市民意識調査	48.2	12461	2020	R02	65.3	6584	2023	R05	55	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向	
125	直接成果	糖尿病等の疾患	HbA1cの名称とその意味を知っている人の割合		健康に関する市民意識調査	22.4	6532	2023	R05	22.4	6532	2023	R05	30	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり	
126	直接成果	糖尿病等の疾患	糖尿病と診断された人の治療継続者の割合		健康に関する市民意識調査	67.4	724	2020	R02	75.5	330	2023	R05	75	以上	2032	R14	増加	国等と同値	
127	直接成果	食環境づくり	栄養バランスのよい食事を選択できる環境づくりに資する取組を行っている店舗数		今後、把握する枠組みの整備	今後把握				64			2024	R6	145	以上	2032	R14	増加	e.データがない
128	直接成果	給食施設の栄養管理	給食利用者による給食内容の評価の実施の割合		栄養管理報告書	66.5	1924	2022	R04	69.1	1920	2023	R5	68	以上	2032	R14	増加	b.2年分以上データあり悪化傾向	
129	直接成果	給食施設の栄養管理	非常食糧を備蓄している給食施設の割合		栄養管理報告書	93.1	1924	2022	R04	94.3	1920	2023	R5	98.8	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向	
130	直接成果	受動喫煙防止対策	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	路上	健康に関する市民意識調査	26.6	9957	2020	R02	35.7	6523	2023	R05	24.3	以下	2032	R14	減少	c.1年分のみデータあり	
131	直接成果	受動喫煙防止対策	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	職場内	健康に関する市民意識調査	8.7	9957	2020	R02	13	6523	2023	R05	7.3	以下	2032	R14	減少	c.1年分のみデータあり	
132	直接成果	受動喫煙防止対策	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	飲食店	健康に関する市民意識調査	8.6	9957	2020	R02	24.5	6523	2023	R05	7.2	以下	2032	R14	減少	c.1年分のみデータあり	
133	直接成果	受動喫煙防止対策	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	公園	健康に関する市民意識調査	5.2	9957	2020	R02	7.1	6523	2023	R05	3.9	以下	2032	R14	減少	c.1年分のみデータあり	
134	直接成果	受動喫煙防止対策	非喫煙者のうち日常生活の中で受動喫煙の機会を有する者の割合	家庭内	健康に関する市民意識調査	8.5	9957	2020	R02	11.5	6523	2023	R05	7.1	以下	2032	R14	減少	c.1年分のみデータあり	
135	直接成果	職場における健康づくり	横浜健康経営認証新規認証事業所数(累計)		横浜健康経営認証	1104			R04	1278			R05	1854	以上	2032	R14	増加	a.2年分以上データあり改善傾向	
136	直接成果	職場における健康づくり	健康状態の改善を感じている横浜健康経営認証クラスAA、クラスAAA認証事業所の割合		横浜健康経営認証申請時アンケート	43.9	98	2022	R04	60.1	268	2023	R05	48	以上	2032	R14	増加	c.1年分のみデータあり	

歯科口腔保健推進計画の目標値の設定について

1 目標値の設定について

(1) 趣旨

「第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画／横浜市こども計画」※策定に伴い、歯科口腔保健推進計画の指標1及び2の目標値を次のとおり設定します。

(2) 目標値

指標	目標値 (%)	
	策定時	再設定値
1 妊婦歯科健康診査受診率	40	50
2 3歳児でむし歯のない者の割合	90	95

(3) 参照

資料3-2

- | | | |
|---------|---|----------------|
| No. 42 | 1 | 妊婦歯科健康診査受診率 |
| No. 123 | 2 | 3歳児でむし歯のない者の割合 |

※第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画／横浜市こども計画（通称：「こども、みんなが主役！よこはまわくわくプラン」）は、2025年度（令和7年度）から2029年度（令和11年度）までの5年を対象とした、横浜市の子ども・子育て支援施策の総合計画です。

歯科健康診査事業		
妊娠期における歯科疾患の予防・早期発見・早期治療につなげ、母体と胎児の健康の保持増進を図るために、妊婦歯科健康診査を行います。また、乳幼児期の口腔状態や生活状況等の養育環境を把握し、こどもの健全な発育を図るために、乳幼児歯科健康診査及び歯科相談を行います。		
想定事業量	直近の現状値	令和11年度
①妊婦歯科健康診査受診率	43.6%	50.0%
②3歳児でむし歯のない者の割合	94.8%	95%以上
③3歳児で4本以上のむし歯を有する者の割合	1%	0%

（第3期横浜市子ども・子育て支援事業計画／横浜市こども計画 p75）

第3期健康横浜21関係機関・団体情報共有シート

資料 5

No	団体名	令和6年度以降の取組 (第3期健康横浜21の取組)	令和6年度 取組計画	①令和6年度 取組実績	②令和7年度 取組計画	③他団体と連携して、今後取り組みたいこと (ご意見やアイデアなどがございましたら、 ぜひご記入をお願いします)	ライフ ステージ	育ち・ 学びの 世代	働き・ 子育ての 世代	食生活	歯・ 口腔	喫煙	飲酒	運動	休養・ こころ	暮らしの 備え	健康 診査	がん 検診	歯科 健診	聴 患	障 疾 病 等 の 疾
1	1_横浜市PTA連絡協議会	横浜のこどもお弁当コンクールの後援や周知啓発を行い、食に対する興味や関心を持ってもらう。中学校給食についての最新情報及び改善点などを確認し、子どもたちの給食がより良いものになるように活動を推進する。	横浜のこどもお弁当コンクールの後援や周知啓発を行い、食に対する興味や関心を持ってもらう。中学校給食についての最新情報及び改善点などを確認し、子どもたちの給食がより良いものになるように活動を推進する。	★第10回横浜の子どもが作るお弁当コンクール後援（2024年6月1日～2025年1月31日） ・審査会審査員として参加 一次審査9月28日 二次審査11月2日 ・各賞記念品の選定 ・審査結果について、本理事会での報告と学校PTA保護者への周知 ★よこはま学校食育財団との連携(小学校給食) ★教育委員会中学校給食献立検討委員会への委員参加。中学校給食への保護者目録での意見提出。 ・中学校給食試食会の開催方法の周知（9月、3月）	横浜のこどもが作るお弁当コンクールの後援や食に対する興味や関心を持ってもらえるよう、周知啓発を行いたい。市教委への協力を含め、中学校給食についての最新情報及び改善点などを確認し、子どもたちの給食がより良いものになるように活動を推進する。	横浜市立小・中・高校・特別支援学校の保護者、20数万人規模に周知できる団体として、各団体のよりよい活動や情報を周知し、同じ歩調で協力できるところは協力していきたい。		●		●	●				●	●					
2	1_横浜市PTA連絡協議会	子どもたちのためにも、保護者自身の飲酒による健康への影響について、セミナー、講演会等実施を検討。 子ども（未成年）による飲酒のリスクの勉強会実施の検討。	子どもたちのためにも、保護者自身の飲酒による健康への影響について、セミナー、講演会等実施を検討。 子ども（未成年）による飲酒のリスクの勉強会実施の検討。	★神奈川県保護連合会との連携。 ・喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する研修会等の周知 ★かながわ青少年社会環境健康化推進会議との連携 ・街頭キャンペーンへの参加	子どもたちのためにも、保護者自身の飲酒による健康への影響について、セミナー、講演会等実施を考慮したり、関連団体の行事の周知をしたりする。子ども（未成年）による飲酒のリスクの勉強会実施の検討を行う。	同 上		●					●								
3	2_神奈川産業保健総合支援センター	労働者50人未満の事業者及び労働者を対象とした産業保健活動の支援、産業保健関係者を対象とした相談・研修・情報提供などの支援、メンタルヘルス対策の普及促進事業を行う。	労働者50人未満の事業者及び労働者を対象とした産業保健活動の支援、産業保健関係者を対象とした相談・研修・情報提供などの支援、メンタルヘルス対策の普及促進事業を行う。	・研修会及びセミナーの開催（124回） ・相談（450件） ・メールマガジン配信数（5万回） ・メンタルヘルス訪問（89件） ・事業場への訪問支援（84件）	労働者50人未満の事業者及び労働者を対象とした産業保健活動の支援、産業保健関係者を対象とした相談・研修・情報提供などの支援、メンタルヘルス対策の普及促進事業を行う。	当センターの支援事業について、まだ周知が不十分なため一層広報に努めていく		●	●						●						
4	2_神奈川産業保健総合支援センター	転倒・腰痛対策として、転倒・腰痛災害ゼロを目指す企業へのサポート支援を行う。	転倒・腰痛対策として、転倒・腰痛災害ゼロを目指す企業への支援を行う。	・産業保健フォーラム及び他団体主催の講習会等にてチラシを配布した	転倒・腰痛対策として、転倒・腰痛災害ゼロを目指す企業への支援を行う	労働基準監督署との連携を今後も継続し、労働災害防止に取り組んでいく		●						●	●	●					
5	2_神奈川産業保健総合支援センター	運転中のドライバーに生じるおそれのある脳・心臓疾患等の健康起因事故防止に向けた注意喚起と健康教育等の支援を行う。	脳・心臓疾患等の健康起因事故防止に向けた注意喚起と健康教育等の支援を行う。	・労働基準監督署主催の講習会および運送関連団体主催のセミナー（計7回） ・事業場（計6件） ・産業保健フォーラム及び他団体主催の講習会等にてチラシを配布した	脳・心臓疾患等の健康起因事故防止に向けた注意喚起と健康教育等の支援を行う	運送関係団体だけでなく、様々な業種の事業所へも支援を広げていく		●	●						●	●		●		●	
6	2_神奈川産業保健総合支援センター	働く方たちへの治療と仕事の両立支援対策の推進を図り、事業場への両立支援制度の導入と健康情報の取扱い制度の構築に向けた支援を行う。	治療と仕事の両立支援に関する相談、周知啓発セミナーの実施及び企業における両立支援制度の導入等への支援を行う。	・相談（140件） ・訪問（50件） ・セミナーの開催（計8回） ・動画配信の実施 ・産業保健フォーラム及び団体主催の講習会等にてチラシを配布した	治療と仕事の両立支援に関する相談、周知啓発セミナーの実施及び企業における両立支援制度の導入等への支援を行う。	今後も関係機関との連携を一層進めていく		●							●			●		●	
7	2_神奈川産業保健総合支援センター	化学物質等による健康障害防止対策の推進に向けた改正労働安全衛生規則等の実地相談支援を行う。	企業の化学物質に関する相談対応および健康障害防止対策への支援を行う。	・実施相談（計30件）	企業の化学物質に関する相談対応および健康障害防止対策への支援を行う。	製造業を中心に企業のニーズは高いため、今後も支援を継続していく		●								●			●		
8	3_横浜南労働基準監督署	中小企業における働き方改革の取組の支援に加え、令和6年4月から建設業、自動車運転者等、特定分野の労働者について時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえ、建設業、陸上貨物運送事業、道路貨物運送事業を中心に、働き方改革の取組を支援する。 長時間労働の抑制および過重労働による健康障害を防止するため、長時間労働が行われていると考えられる事業場に対する監督指導を引き続き実施する。 職場の産業保健活動やメンタルヘルス対策が適切に実施されるよう、引き続き周知・指導を行う。	中小企業における働き方改革の取組の支援に加え、令和6年4月から建設業、自動車運転者等、特定分野の労働者について時間外労働の上限規制が適用されたことを踏まえ、建設業、陸上貨物運送事業、道路貨物運送事業を中心に、働き方改革の取組を一層支援する。 長時間労働の抑制および過重労働による健康障害を防止するため、長時間労働が行われていると考えられる事業場に対する監督指導を引き続き実施する。 職場の産業保健活動やメンタルヘルス対策が適切に実施されるよう、引き続き周知・指導を行う。	・運送事業者に対する労務管理講習会の開催（支援）4月、5月各月1回開催、参加事業乗数計12社、タクシー事業者労務講習会、7月1回開催、参加事業場18社（健康起因事故講話も含む） ・建設事業者に対する労務管理講習会の開催（支援）働き方改革支援センターへ委託対象事業場210社。 ・長時間労働抑制、過重労働防止目的の監督指導等の実施：年間110件 ・メンタルヘルス対策集団指導5月実施7社出席（案内発送42社）	中小企業における働き方改革の取組の支援に加え、建設業、陸上貨物運送事業、道路貨物運送事業を中心に、働き方改革の取組支援を引き続き実施（運送事業者に対する講習会年3回、建設業事業者に対する講習会年2回）。 長時間労働の抑制および過重労働による健康障害を防止するため、監督指導を引き続き実施する。 職場の産業保健活動やメンタルヘルス対策が適切に実施されるよう、引き続き周知・指導を行う。（ストレスチェック未実施事業場へのメンタルヘルス講習会の実施など）	労働安全衛生法改正により、今後50人未満事業場におけるストレスチェック実施の義務化に向けた効率的な周知と実施の動員の必要が生じる見込み。（具体案は今後検討予定）		●	●					●							
9	3_横浜南労働基準監督署	増加傾向にある、転倒災害・腰痛等労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策を推進する。	増加傾向にある、転倒災害・腰痛等労働者の作業行動に起因する労働災害防止対策を推進する。	健康づくりフォーラム実施。 災害全体に占める転倒災害の割合を26%以下の目標のところ、27.9%。社会福祉施設における労働災害全体のうち腰痛の占める割合を17%以下の目標のところ31.5%	・横浜市健康福祉局主催による介護事業者向けオンライン講習会資料を提供。 ・横浜4監督署合同で社会福祉施設に対する講習会開催を検討中。	高齢者や女性の災害防止の取組推進が必要		●	●							●	●				

第3期健康横浜21関係機関・団体情報共有シート

資料 5

No	団体名	令和6年度以降の取組 (第3期健康横浜21の取組)	令和6年度 取組計画	①令和6年度 取組実績	②令和7年度 取組計画	③他団体と連携して、今後取り組みたいこと (ご意見やアイデアなどがございましたら、 ぜひご記入をお願いします)	ライフ ステージ	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	食 生 活	歯・ 口 腔	喫 煙	飲 酒	運 動	休 養・ こ こ ろ	暮 ら し の 備 え	健 康 診 査	がん 検 診	歯 科 健 診	障 疾 病 等 の 疾 患
							育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代	育ち・ 学びの 世代
10	4_日本チェーンストア協会 (相鉄ローゼン株式会社)	健康横浜21及び神奈川食育を進める会と連携し食育活動を行う。	横浜市と連携し自然と健康になれる食環境を推進	横浜市の食環境づくりの取組さらに前進としてハマの元気ごはん弁当 7月～ 第3弾 10月～第4弾 の販売を展開した。	関係部門と調整し計画		●		●											
11	4_日本チェーンストア協会 (相鉄ローゼン株式会社)	20歳以上の年齢へ販売を店内表示等で明示 「※これはお酒です。20歳以上の年齢であることを確認できない場合には酒類を販売いたしません。」	アルコール飲料の販売	啓発活動を継続	啓発活動を継続		●					●								
12	5_ J A 横浜	子どもの頃から農業に親しみ、食農教育を通じて子どもの健康づくりの普及啓発として各種イベントを実施する。	市内小学校に稲作栽培支援授業を実施 また希望する小学校に出前授業を実施	・市内小学校5年生を対象に稲作栽培支援事業を実施し、農業体験を通じて児童へ「いのち」の源である食を育む農業の大切さを普及。 実施校：29校 実施回数：51回 参加児童数：延べ2,199名 実施 小学校担当教員に対し「稲作栽培指導者向け資料」を配布。 ・市内小学校に出前授業を実施した。 実施校：3校 参加児童数：332名	本年度より稲作栽培支援事業については新規申請校を重点項目に掲げ、稲作栽培支援事業を実施していく。 出前授業については引き続き希望する小学校に出前授業を実施していく。	横浜市など行政との連携を深めることで更なる子どもの食農教育活動の深耕を図っていく。	●		●				●							
13	5_ J A 横浜	親子農業体験「あぐり塾」の開校 ～極めて・育てて・収穫して・食べて～	令和5年度をもって終了しました	なし	なし	なし	●		●				●							
14	5_ J A 横浜	地産地消料理教室の開催 横浜農畜産物を使用した料理教室	横浜産農畜産物を使用した料理教室を年間約80 回程度実施	食材に市内産農畜産物を使用した「クッキングサロンハマッ子」料理教室を開催し、地産地消の普及に努めた。 実施回数：84回 受講者：1,522名	引き続き「クッキングサロンハマッ子」料理教室を開催し、地産地消の普及に努めていく。	「クッキングサロンハマッ子」料理教室だけに留まらず、企業・行政などと連携し、横浜農畜産物および地産地消を普及していくためにクッキングサロン施設を活用していく。	●	●	●											
15	5_ J A 横浜	高齢者向け「健康寿命100歳講座」 現役世代向け「健康サポート教室」の実施	9月高齢者向け「健康寿命100歳講座」 10月に現役世代向け「健康サポート教室」の実施	健康管理を目的に講師を派遣して健康講話等を実施した。 高齢者向け実施日：9月11日参加者：98名 現役世代向け 実施日：10月31日参加者：39名	本年度も引き続き高齢者向け・現役世代向けに実施していく。			●	●			●								
16	5_ J A 横浜	若年層や担い手農業者等を対象に健康意識向上ステップアップ運動を実施し、生活習慣病健診や 問診の受診率向上をめざす。	農業者の担い手である若年層並びに農業者を対象に	次世代リーダー層と担い手を対象に健康意識向上ステップアップ運動を実施。 対象人数：2,621名	本年度は、推進対象者として新たに女性部・資産保全部を追加し、更なる組合員の健康受診率を図る。対象人数：7,432名		●	●									●			
17	5_ J A 横浜	高齢者のコミュニティの場づくり「いきいきサロン」の開催	市内30支店にて高齢者のコミュニティの場づくり「いきいきサロン」を実施	シネレーションや談話を通じて高齢者の交流を深めることを目的に開催した。 実施回数：年31回 参加者：延べ628名	本年度も引き続き高齢者のコミュニティの場づくりとして「いきいきサロン」を開催していく。		●	●	●			●	●							
18	6_一般社団法人 横浜市食品衛生協会	飲食業界の特定健診受診の啓発を行う。	神奈川県食品衛生国保組合と連携して特定健診受診率向上のためのチラシを配布	健康保険加入者世帯に特定健診受診促進チラシを配布 約7000世帯	引き続き神奈川県食品衛生国保組合と連携しての特定健診受診率向上のためのチラシ配布												●			
19	6_一般社団法人 横浜市食品衛生協会	飲食店の喫煙ルールの周知	食品衛生責任者養成講習会や実務講習会のなかで喫煙ルールの啓発ができるよう工夫する	責任者養成講習会での喫煙ルール説明 受講者2000人 責任者実務講習会eラーニングで健康福祉局作成の喫煙ルールの啓発動画での周知	引き続き食品衛生責任者養成講習会や実務講習会での喫煙ルールの説明					●										
20	6_一般社団法人 横浜市食品衛生協会	飲食店において未成年者に飲酒をさせない、勧めない啓発を行えるように取組みます。	食品衛生責任者養成講習会や実務講習会のなかで未成年への飲酒させないルールが啓発できるよう工夫する	食品衛生責任者養成講習会での未成年者への飲酒ルールの説明	引き続き食品衛生責任者養成講習会や実務講習での飲酒ルールの説明		●			●										
21	7_横浜市保健活動推進委員会	健康づくりへのきっかけ作りと重症化予防のため の特定健診・がん検診の普及啓発を行なう。	地域でのイベントなどでチラシやグッズを配布する。	区民まつり等における健康づくり推進事業 実施回数：101回、参加者数等：41,983人	令和6年度と同等		●	●	●							●	●	●	●	●
22	7_横浜市保健活動推進委員会	よこはまウォーキングポイント事業への協力と推進	各区でウォーキングの企画・実施を行なう。	各地区で研修を行い、ウォーキング関連イベント等での啓発チラシの配布 3,066枚	令和6年度と同等			●	●				●	●						
23	7_横浜市保健活動推進委員会	禁煙・受動喫煙防止の推進	イベント時にパネルの展示や啓発グッズ配布と受動喫煙防止の声かけを行なう。	区民まつりで禁煙・受動喫煙防止として大人用と子供用に分けたい形式で啓発を実施	令和6年度と同等		●	●	●		●									
24	7_横浜市保健活動推進委員会	ロコモ対策の推進とフレイル・オーラルフレイル 予防の理解	フレイル・オーラルフレイルの理解を深める研修を進めるとともに、イベント時にリーフレットを配布する。	イベント時に健康測定（口腔機能チェック）を行うと共にオーラルフレイルを説明	令和6年度と同等		●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	
25	7_横浜市保健活動推進委員会	認知症について理解と予防に努める。	もの忘れ外来の周知に努めるとともに、予防とし てコグニサイズや脳トレを行なう。	横浜市もの忘れ検診のチラシを各地区係員に配り、受診を各地区区民に勧める	令和6年度と同等		●	●					●	●	●					
26	7_横浜市保健活動推進委員会	歯科口腔保健の推進	歯科口腔研修の開催するとともに歯と口の週間など でリーフレットを配布する。	市からの歯科口腔保健情報を一般推進員へ展開し、各地区へ情報提供する	令和6年度と同等		●	●	●	●									●	
27	7_横浜市保健活動推進委員会	感染症予防に関する普及啓発	機をとりえ感染症対策の啓発チラシを配布する。	感染性胃腸炎、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、梅毒等の感染症流行状況の普及啓発を行う	暮らしの備え(自然災害の健康リスク・屋内事故の予防(熱中症・ヒートショック等の対策理解))		●	●	●				●	●	●					
28	8_横浜市食生活等改善推進員協議会	世代別に食を通した生活習慣の改善や生活習慣病 予防につながる事業を実施する。	世代別に食を通した生活習慣の改善や生活習慣病 予防につながる事業を実施する。	横浜市委託事業の行動目標に据えて、全世代で啓発した。 育ち・学びの世代 18区合計36回実施 1,247人に啓発 働き・子育て世代 18区合計36回実施 676人に啓発 実りの世代 18区合計36回実施 731人に啓発	横浜市委託事業の行動目標に据えて、全世代で啓発を実施 育ち・学びの世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 働き・子育て世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 実りの世代 18区合計36回実施 720人啓発予定	啓発活動を通じて、子どもの時からの啓発が大切であることを感じている。 同時に子どもと密接な関係の保護者への啓発も大切と感じている。 PTAと協力して保護者への啓発もできたらと思う。	●	●	●											
29	8_横浜市食生活等改善推進員協議会	予期せぬ事態における在宅勤務や外出自粛が原因 での生活習慣病やフレイル等の発症予防につ いて、平時からの生活習慣の大切さについて普及啓 発活動を行う。	自然災害等の「もしも」の健康リスクに備えるた め、日頃から災害に備え食品等の備蓄に努める 市民が増えることにつながる事業を実施する。	横浜市委託事業の行動目標に据えて、働き・子育て世代中心で啓発した。 18区合計36回実施 1,728人に啓発 (内訳：高校生までの市民 47人 成人 615人 高齢者 1,066人)	横浜市委託事業の行動目標に据えて、働き・子育て世代、実りの世代で啓発を予定 18区合計36回実施 1,440人啓発予定		●	●	●						●					

							ライフ ステージ														
No	団体名	令和6年度以降の取組 (第3期健康横浜21の取組)	令和6年度 取組計画	①令和6年度 取組実績	②令和7年度 取組計画	③他団体と連携して、今後取り組みたいこと (ご意見やアイデアなどがございましたら、 ぜひご記入をお願いします)	育 ち・ 学 び の 世 代	働 き・ 学 習 の 世 代	食 生 活	歯 ・ 口 腔	喫 煙	飲 酒	運 動	休 養・ こ こ ろ	暮 ら し の 備 え	健 康 診 査	がん 検 診	歯 科 健 診	特 殊 な 疾 患 の 検 査		
30	9.(株)神奈川新聞社	がん予防については定期的に(年1回)紙面にて大々的に啓発特集を掲載し、市民・読者一人一人が定期的にがん検診を受け、予防、早期発見につながるよう促す。		がん予防については9月に本紙内で4ページにわたる啓発特集を掲載、市民・読者一人一人が定期的にがん検診を受け、予防、早期発見につながるよう促した他、最新のがん治療についても紹介。その他、毎週火曜日掲載の「生活面」の中で子どもから大人まで多種多様な健康知識を、専門家へのインタビューなどを通じて発信。		本年度も引き続き、がん予防に関する啓発のため、9月に大々的な特集を組む予定。また、引き続き、火曜日付の「暮らし」面では不定期に健康情報を発信。直近では、スマホ斜視やトラウマインフォームドケアなどについて紹介した。		●	●								●				
31	10.(株)テレビ神奈川	報道や各種番組を通じて、健康に対する市民の関心を高め、必要な情報を拡散する。		1.「NewsLink」をはじめとする報道番組において、健康に関するニュースや特集を様々な観点で取材し、正しい情報をお伝えする 2.ニュース情報番組「Newsハーパー」で、医療関係者や企業との連携で、啓発活動を進めていく 3.「ME-BYO」等の特別番組を通じて、多くの関連企業とともに必要な情報をお伝えしていく	1.「2025年問題」5/2放送、「RSウイルス」6/7放送、「横浜こどもホスピス」9/20放送、「市長 新春特集(中3までの医療費、出産費用、がん検診)」1/20放送 2.「県立4高校での朝食提供事業」12/6放送 3.「働く世代の健康LIFE～ME-BYOで輝くカラダと人生～」3/30放送	1.「NewsLink」をはじめとする報道番組において、健康に関するニュースや特集を様々な観点で取材し、正しい情報をお伝えする 2.ニュース情報番組「Newsハーパー」で、医療関係者や企業との連携で、啓発活動を進めていく	●	●	●	●			●	●		●	●	●	●		
32	10.(株)テレビ神奈川	25年度から「tvkいきいきマージャン教室」を毎年実施。トータル約800名が参加した。マージャンを純粋に楽しみ、指と頭を使う「脳トレ」として活用、毎年定員を上回る応募がある。卒業生対象に大会も実施。		4.「tvkいきいきマージャン教室」を引き続き開催。毎年楽しみにしている参加者の期待に応えていく	4.40人×4クラスで各40回実施した	3.「tvkいきいきマージャン教室」を引き続き開催。毎年楽しみにしている参加者の期待に応えていく			●				●	●							
33	10.(株)テレビ神奈川	「横浜マラソン」に合わせ、当日の生中継(7時間半)とズームアップのためのレギュラー番組を放送。市民の健康とスポーツへの関心を喚起してきた。		5.横浜マラソンの生中継を通じて、市民スポーツに参加する楽しさを醸成していく	5.スタート30分からの1時間番組を制作・放送した	4.横浜マラソンや家庭婦人バレーボール大会の放送を通じて、市民スポーツに参加する楽しさを醸成していく		●	●				●	●							
34	10.(株)テレビ神奈川	大豆100粒運動 年間：県内の小中学校を中心に約120校に和食の基本食材である大豆「津久井在来」を配布、栽培・加工方法指導のアドバイス、番組での紹介など、食育活動を支援。		6. ①栽培するための「津久井在来大豆」をプレゼントします。 ②「大豆100粒しんぶん」をお届けします。(年4回)。大豆100粒運動を支える会のFBにも大豆の成長記録を掲載しています。 ③観察記録、絵画のコンクール実施！12月末まで全国コンクールを実施します。応募児童すべてに参加賞を差し上げています。 ④大豆栽培・加工の「困った!」をお手伝いします。	6. ①170校に「津久井在来大豆」を送付 ②6月、8月、11月、2月に「大豆100粒しんぶん」を送付	5.かながわMIRAIメルマガ会員へ、乳児・幼児向けの健康・食育情報を配信していく ※「かながわMIRAI」 県内でお子様が生誕したご家庭からのご応募でお祝いのギフトボックス「はじめてばこ」を無料でお届けする事業。お届け先のご家庭はメルマガ会員として育児情報を月2回配信している	●	●	●												
35	11.一般社団法人横浜市医師会	各種がん検診、特定健診の受診率向上と精度管理を充実させる。		各種がん検診、特定健診の受診率向上と精度管理を充実させる。特に年々受検件数が増加傾向にある乳がん検診、肺がん検診、胃がん内視鏡検診においては、受診者への結果説明までの期間短縮と精度管理向上を目的に、二次診断クラウドシステムの導入及びシステム導入医療機関の拡充を推進していく。また、引き続き横浜市と連携し受診動員につき積極的に取り組む。	各種がん検診、特定健診の受診率向上と精度管理を充実させた。	各種がん検診、特定健診の受診率向上と精度管理を充実させる。特に年々受検件数が増加傾向にある乳がん検診、肺がん検診、胃がん内視鏡検診においては、受診者への結果説明までの期間短縮と精度管理向上を目的に、二次診断クラウドシステムの導入及びシステム導入医療機関の拡充を推進していく。また、引き続き横浜市と連携し受診動員につき積極的に取り組む。										●	●	●			
36	11.一般社団法人横浜市医師会	市民公開講座によるオンライン配信により情報を届ける。(行動目標は内容による)		市民公開講座によるオンライン配信(YouTube)により情報を届ける。	市民公開講座によるオンライン配信により情報を届けた。(行動目標は内容による)	市民公開講座によるオンライン配信(YouTube)により情報を届ける。	●	●							●						
37	11.一般社団法人横浜市医師会	市民広報誌「みんなの健康」の発行を行い、また、ラジオ日本の「みんなの健康ラジオ」の運営を通じて市民向け最新の医療情報を分かりやすく発信し、市民や地域の健康増進に貢献していく。(行動目標は内容による)		市民広報誌「みんなの健康」の発行やラジオ日本「みんなの健康ラジオ」の運営を通じ、市民向け最新の医療情報を分かりやすく発信し、健康増進に貢献していく。全市一斉健康増進相談事業を実施し、地域の健康増進に貢献する。	市民広報誌「みんなの健康」の発行を行い、また、ラジオ日本の「みんなの健康ラジオ」の運営を通じて市民向け最新の医療情報を分かりやすく発信し、健康増進に貢献していく。全市一斉健康増進相談事業を実施し、地域の健康増進に貢献する。	市民広報誌「みんなの健康」の発行やラジオ日本「みんなの健康ラジオ」の運営を通じて、市民向け最新の医療情報を分かりやすく発信し、健康増進に貢献していく。全市一斉健康増進相談事業を実施し、地域の健康増進に貢献する。	●	●													
38	11.一般社団法人横浜市医師会	がん治療と仕事の両立支援や、長時間労働等のテーマを検討し、産業医向けの研修会の企画を行う。(行動目標はテーマによる)		がん治療と仕事の両立支援や、長時間労働等のテーマを検討し、産業医向けの研修会を企画し実施する。	がん治療と仕事の両立支援や、長時間労働等のテーマを検討し、産業医向けの研修会の企画を実施した。(行動目標はテーマによる)	がん治療と仕事の両立支援や、長時間労働等のテーマを検討し、産業医向けの研修会を企画し実施する。	●	●						●			●		●		
39	11.一般社団法人横浜市医師会	ACP等の市民啓発講演会の企画を行う。(アドバンス・ケア・プランニング:将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセス)		ACP等の市民啓発講演会の企画を行う。(アドバンス・ケア・プランニング:将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセス)	ACP等の市民啓発講演会の企画を実施した。(アドバンス・ケア・プランニング:将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセス)	ACP等の市民啓発講演会の企画を実施する。(アドバンス・ケア・プランニング:将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて、本人を主体に、そのご家族や近しい人、医療・ケアチームが、繰り返し話し合いを行い、本人による意思決定を支援するプロセス)	●	●						●							

第3期健康横浜21関係機関・団体情報共有シート

資料 5

No	団体名	令和 6 年度以降の取組 (第 3 期健康横浜 2 1 の取組)	令和 6 年度 取組計画	①令和 6 年度 取組実績	②令和 7 年度 取組計画	③他団体と連携して、今後取り組みたいこと (ご意見やアイデアなどがございましたら、 ぜひご記入をお願いします)	ライフ ステージ		食 生 活	歯 ・ 口 腔	喫 煙	飲 酒	運 動	休 養 ・ こ こ ろ	暮 ら し の 備 え	健 康 診 査	がん 検 診	歯 科 健 診	障 害 病 等 の 疾 患
							育 ち ・ 学 び の 世 代	働 き ・ 学 習 の 世 代											
40	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	乳幼児歯科健康診査事業の受診率の更なる向上、 地域格差の是正、第2子以降のう蝕罹患率減少、 成長発育を鑑みた歯科口腔保健の推進	市内歯科医療機関との情報共有を進め、歯と口の 健康週間行事等イベント、HP、SNSなどの媒体 を利用し啓発を進める。	18区の福祉保健センターでの乳幼児歯科健診、保育園、幼稚園等での 歯科健診を通じて齲蝕の罹患率減少、口腔機能の向上に関する取 組等をおこなった	会員診療所との情報共有を進め、会員に対して研修会を開催するほ か、歯と口の健康週間等のイベント、Web、SNSなどの媒体を利用 して啓発を進める。	行政、幼稚園、保育園等とさらなる連携を深めていくこと で齲蝕罹患率のさらなる減少等に取り組んでいきたい。	●			●						●		●	
41	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	市民参加型のイベントとして正しい歯科口腔にか かわる情報発信、多職種協働によるイベント	市民参加型のイベントとして「歯と口の健康週間 行事」等を行いHPSNSによる正しい歯科口腔に かわる情報発信、多職種協働によるイベント実施	国内患者数1590万人とされる骨粗鬆症患者の多くはビスホスホネ ート系薬剤を服用しているが、この薬の副作用による顎骨壊死を防ぐ ための市民及び医療従事者向け講演会をおこない173名の参加者が あった。	市民参加型のイベントとして「歯と口の健康週間行事」等をおこな い、Web、SNSによる正しい歯科口腔に関わる情報の発信、多職種 協働によるイベントを実施していく。	歯と口の健康週間行事は既に多くの市民が参加するイベント となっているが、啓発等で他団体に協力いただくことで、 さらなる市民の歯と口の健康増進をおこなってきたい。	●	●		●				●			●		
42	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	歯周病検診受診率の向上（目標数値の設定）、歯 周病と全身疾患の関連に関する啓発活動の推進	市内実施医療機関との情報共有を進め、歯と口の 健康週間行事等イベント、HP、SNSなどの媒体 を利用し啓発を進める。	会員診療所にて歯周病検診を実施したほか、イベント、講演会、研 修会等において歯周病と全身疾患に関する啓発活動をおこなった。	会員診療所との連携、情報共有を進め、市内で開催されるイベン ト、講演、研修会のほか、Web、SNS等の媒体を積極的に活用して 啓発を進める	歯周病はがん、心疾患、脳血管疾患、肺炎、早産等にも関与 していることから、他団体と協働による講演会、イベント等 の啓発活動を検討したい。		●	●	●								●	
43	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	オーラルフレイルの予防ならびに対策の拡充、元 気づけリステーションを軸とした啓発活動の推進	市内歯科医療機関との情報共有を進め、歯と口の 健康週間行事等イベント、HP、SNSなどの媒体 を利用し啓発を進める。	歯と口の健康週間行事ではホームページを開設したほか、ブローチ アや18区で様々なイベントをおこなった。期間中、Webには14033 人、18区の会場には3812人も人が訪れた。	健康寿命の延伸には歯と口の健康が欠かせないことから、会員診療 所との間で情報共有を進め、歯と口の健康週間行事等のイベントの ほか、Web、SNS等の媒体を積極的に活用して啓発を進めていく。	歯と口の健康週間行事は既に多くの市民が参加するイベント となっているが、啓発等で他団体に協力いただくことで、 さらなる市民の歯と口の健康増進をおこなってきたい。		●	●	●			●				●		
44	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	口腔粘膜疾患の啓発活動の推進	市内歯科医療機関と高次医療機関との連携、情報 共有を進め、歯と口の健康週間行事等イベント、 HP、SNSなどの媒体を利用し啓発を進める。	日本口腔外科学会主催の歯科医療を対象とした口腔がん検診に係る 研修会に協力したほか、18区で市民を対象に口腔がんをはじめとす る口腔粘膜疾患の啓発活動をおこなった。	会員診療所との連携、情報共有を進め、市内で開催されるイベン ト、講演、研修会のほか、Web、SNS等の媒体を積極的に活用して 啓発を進める。	口腔がんを中心とする頭頸部がんは毎年2万例以上が診断さ れており、早期発見、早期治療は重要である。他団体がおこ なう口腔粘膜疾患をテーマにした講演、イベント、健診等に 協力していきたい。		●	●	●							●		
45	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	障害児または配慮が必要な児童への対応を目的と した研修会の開催	心身障害者歯科診療事業の協力医療機関認定研修 会の実施	会員を対象に障害者歯科診療に係る研修会、実習をおこなったほ か、Web、会報等を通して障害者歯科診療に関わる事項の情報提供 をおこなった。	障害者歯科診療を担う市内の高次医療機関の受け入れ体制はひっ迫 していることから、心身障害者歯科診療事業の協力医療機関認定研 修会、更新研修会の実施していくことで高次医療機関の負担を軽減 していく。	歯と口の健康は健康寿命の延伸には欠かせないが障害者の 歯科受診率は低いことから、支援団体等に協力することで 歯科受診率を高め健康寿命の延伸をはかっていきたい。	●			●							●		
46	12_一般社団法人 横浜市歯科医師会	児童虐待防止を目的とした各地区の担当者協議会	会員及び会員診療所スタッフを対象とした児童虐 待対策研修会の実施	18区の担当者が集い児童虐待防止に関する協議会を開催したほか、 会員及び会員診療所職員を対象に啓発活動をおこなった。	歯科診療を通して児童虐待が発見されることが多いことから、会員 及び会員歯科診療所職員を対象に児童虐待対策の啓発を進める。	虐待を受けている児童は、多数かつ重症の虫歯、重度の歯 肉炎など口腔が崩壊していることがしばしばあり、こども食 堂での歯科相談等、支援団体に協力することで改善をは かっていきたい。	●	●									●		
47	13_一般社団法人 横浜市薬剤師会	禁煙支援薬局事業を継続し、禁煙相談・受動喫煙 防止対策の推進を支援する。	禁煙支援薬局事業研修会を開催し、禁煙支援薬局 の新規認定・更新認定を行う。 小学生版喫煙防止教育横浜型プログラムに基づき 学校での喫煙防止教育を実施	禁煙支援薬局研修会の開催（R6、7、27） 各学校薬剤師による喫煙防止教室の実施	R7.7、26禁煙支援薬局研修会の開催：受講者134名	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議との研修会 の開催	●	●	●		●								
48	13_一般社団法人 横浜市薬剤師会	運動習慣事業として薬草探索健康ウォーキングの 開催、フレイル予防の啓発	薬草探索ウォーキングの実施。 薬局等でのミニ健康講座や健康測定を行い、個々 に応じたフレイル予防啓発を行う	R6.9.29 横浜市薬剤師会 薬草探索健康ウォーキングの開催 三ツ境駅⇨追分市民の森⇨薬老南公園 約5Kmのコースをウォーキ ングしました。 R6～新規事業：フレイル予防普及啓発事業 R6は、南区、宋区、泉区の3区で実施 R6～フレイル予防薬局認定制度の開始	R7.7.26 禁煙支援薬局研修会の開催：受講者134名 R7.11.2 薬草探索健康ウォーキングの開催 場所：緑区 四季の森公園			●	●				●						
49	13_一般社団法人 横浜市薬剤師会	生活習慣病の発症予防や重症化予防の啓発事業へ の協力、研修会の開催	糖尿病重症化予防のための薬剤師向け研修会を行 う	R7.1.30 糖尿病重症化予防研修会の開催：薬剤師向け	R7 糖尿病重症化予防研修会の開催予定：日時未定、糖尿病連携手 帳を活用した多職種連携について	医師会・歯科医師会・栄養士会との連携研修会の開催	●	●											●
50	13_一般社団法人 横浜市薬剤師会	災害時など、「もしも」の健康維持に備えるための 啓発事業への協力	災害時には処方可能な薬局に「開局中」の旗を掲 示する。 災害時にも服薬を継続できるよう、お薬手帳の活 用を啓発する	イエローフラッグ事業の継続：被災時に薬局が営業している事が分 かるように、「開局中」のイエローフラッグを掲げる：医師会との 連携事業 モバイルファーマシーの展示：地域の方々にMPを認知して頂くた めの事業：R6.9.15、運転教習の実施：R6.8.18	リスト管理薬局、水害時衛生協力薬局事業、災害応急用井戸簡易水 質検査、MPの啓発事業、		●	●						●					
51	13_一般社団法人 横浜市薬剤師会	「飲酒防止教室」の中で、「飲酒防止教育ヨコハ マ型プログラム」により、アルコールによる成長 期の身体及び脳への影響について教育する	学校薬剤師による学校での飲酒防止教室を実施	各学校薬剤師による飲酒防止教室の開催			●					●							

第3期健康横浜21関係機関・団体情報共有シート

資料 5

							ライフ ステージ													
No	団体名	令和6年度以降の取組 (第3期健康横浜21の取組)	令和6年度 取組計画	①令和6年度 取組実績	②令和7年度 取組計画	③他団体と連携して、今後取り組みたいこと (ご意見やアイデアなどがございましたら、 ぜひご記入をお願いします)	育 ち・ 学 び の 世 代	働 き・ 子 育 て の 世 代	食 生 活	歯 ・ 口 腔	喫 煙	飲 酒	運 動	休 養・ こ こ ろ	暮 ら し の 備 え	健康 診 査	がん 検 診	歯 科 健 診	腸 胃 病 等 の 疾 患	
52	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	食育事業を通して、様々な世代に向けて健康的な 食生活を支援する情報提供を行う。	・横浜市×市大衆栄養イベントへの参加協力 ベジエック後に栄養アドバイス予定 ・横浜市フレイル予防取り組み推進民間企業連携 に事業協力 7月1日神奈川県	・Wellness Port YOKOHAMA 横浜参加(8月、来場者1904名) ・神奈川県フレイル予防講演会展示ブース栄養相談 (7月、相談者 28名)	・横浜市フレイル予防取組民間連携連絡会参加 フレイル予防フェ スへの参加 ・健康チャレンジフェアへの参加	・フレイル予防フェスでは、薬剤師会他民間企業との連携予 定 ・健康チャレンジフェアでは県歯科医師会とコラボ企画予 定	●	●	●											
53	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	作成したレシピを使い、離乳食教室、親子料理教 室を開催し、食を通じた子育て支援を進める。	・横浜市子育て拠点2か所で「お魚離乳食教室」 を開催予定 ・作成レシピを用いた料理教室の開催企画中	・「お魚離乳食教室」市内子育て拠点、子育て広場に4回開催 (6 月、9月、2月 参加者57組)	・横浜市子育て拠点2か所で「お魚離乳食教室」を開催予定 ・高齢者向け料理教室の開催7月	・横浜中央卸市場本場と共同したレシピ集を使い離乳食教 室を開催しているが、JAとのコラボで野菜料理の紹介もした い	●		●											
54	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	外食アドバイスの推進 栄養バランスを考慮し たレシピの提案や献立の栄養計算を行う事業の 周知し、推進する。	・栄養ケア・ステーションを通し、依頼に対応予 定	依頼なし	・栄養ケア・ステーションを通し、依頼に対応予定			●	●											
55	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	高齢者食生活サポート事業の推進 ボランティ ア給食等へ栄養アドバイス、食品衛生の出前講座を 推進する。	・栄養ケア・ステーションを通し、依頼に対応予定	依頼なし	・栄養ケア・ステーションを通し、依頼に対応予定				●	●										
56	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	地域ケア会議、通いの場に関わる管理栄養士を増 員し、参画する	・地域ケア会議、通いの場に関わる管理栄養士を増 員し、参画する	・地域ケア会議、通いの場に関わる管理栄養士を増 員し、参画する	・地域ケア会議、通いの場に関わる管理栄養士を増 員し、参画する			●												
57	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	JDA-DAT、神栄-DAT (日本栄養士会並びに神 奈川県栄養士会災害支援チーム) の養成を行い災 害時の栄養・食生活支援に備える バッククッキ ングの普及活動	・スタッフ研修会2回開催、スキルアップ研修会 開催予定 ・地域の防災イベントにて、備蓄食品、バック クッキングの紹介や講習を行う 講師派遣	・スタッフ研修会2回 (9月10月、参加者22名) スキルアップ研修会1回 (2月、参加者17名) ・神奈川県ビッグレスキュー (11月、参加者225名 ・逗子市消防・防災フェア (3月、参加者210名)	・スタッフ研修会1回開催、スキルアップ研修会開催予定 ・地域の防災イベントにて、備蓄食品、バッククッキングの紹介や 講習を行う 講師派遣	・地域防災イベントへの展示参加、備蓄食品、バッククッキ ングの紹介協力可能	●	●	●	●										
58	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	市内の認定栄養ケア・ステーションを増設 地域 栄養士が身近に活動する拠点を増やし、食生活支 援に役立てる。	・申請手続きを進め、栄養ケア・ステーション登 録者へのスキルアップ研修会2回開催	・申請手続きを進め、栄養ケア・ステーション登 録者へのスキルアップ研修会2回開催 (8月、2月)	・登録者へのスキルアップ研修会2回開催 ・市内認定栄養ケア・ステーション連絡会開催予定		●	●	●	●										
59	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	育ち・学びの世代のために、若い世代からの飲酒 は飲酒量やアルコール依存症等を増大させると いったアルコール摂取のリスクを食育活動を通し て伝える	・学校健康教育 (学校栄養士職域) 理事、役員を 通し、取組を周知する	第1県民事業部役員会 (横浜市) にて周知協力依頼	第3期健康横浜21の取組を各職域の会員周知し食育活動につなげる		●					●								
60	14.公益社団法人 神奈川県栄養士会	育ち・学びの世代の保護者に向けて、市民イベン トで飲酒のリスクを周知し、家庭内で対策を講じ る機会とする	・学校健康教育 (学校栄養士職域) 理事、役員を 通し、取組を周知する	第1県民事業部役員会 (横浜市) にて周知協力依頼	第3期健康横浜21の取組を各職域の会員周知し食育活動につなげる		●					●								
61	15.公益財団法人 横浜市スポーツ協 会	ライフステージに応じたスポーツ活動や、ウォー キングやマラソンなど健康づくりのきっかけにつ ながる各種イベント、スポーツ教室を実施する。	・横浜マラソンの開催 ・運営施設での多世代多種目のスポーツ教室の実 施 ・多世代の方が楽しめるスポーツ種目、ウォーキ ングイベントの実施	・横浜マラソン：10月27日 (日) 25,542人参加 ・教室やイベント、個人利用等の事業参加者数：1,454,570人 ・第35回よこはまシティウォーク：3月20日 (木祝) 3,554人参加 など	・横浜マラソンの開催 ・運営施設での多世代多種目のスポーツ教室の実施 ・多世代の方が楽しめるスポーツ種目、ウォーキングイベントの実 施		●	●	●					●						
62	15.公益財団法人 横浜市スポーツ協 会	障害の有無や年齢・性別等にかかわらず、市民の 誰もがスポーツを楽しめる多様な機会を創出す る。(インクルーシブの普及・振興)	・インクルーシブスポーツの体験会、イベントの 実施 ・ポッチャ等バラスポーツを通じた交流会や大会 の実施	・インクルーシブスポーツ事業：62事業、11,742人参加 例) バラスポーツ競技大会や体験会を開催：水泳、陸上競技、ボウ リング、テニス、トリアスロン、少林寺拳法：275人参加 ・チャリティーバスケットボールフェスティバル 2024：8月3日 (土) 606人参加 など	・インクルーシブスポーツの体験会、イベントの実施 ・ポッチャ等バラスポーツを通じた交流会や大会の実施		●	●	●					●						

第3期健康横浜21 関係機関・団体情報共有シート

資料 5

							ライフ ステージ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
--	--	--	--	--	--	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第3期健康横浜21関係機関・団体情報共有シート

資料 5

							ライフ ステージ																	
No	団体名	令和6年度以降の取組 (第3期健康横浜21の取組)	令和6年度 取組計画	①令和6年度 取組実績	②令和7年度 取組計画	③他団体と連携して、今後取り組みたいこと (ご意見やアイデアなどがございましたら、 ぜひご記入をお願いします)	育 ち・ 学 び の 世 代	働 き・ 学 習 の 世 代	食 生 活	歯 ・ 口 腔	喫 煙	飲 酒	運 動	休 養・ こ こ ろ	暮 ら し の 備 え	健 康 診 査	がん 検 診	歯 科 健 診	障 害 等 の 疾 患					
79	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	保険者等（後期高齢者医療広域連合を含む）等の質向上を目的として、研修会を開催する。		各保険者等の事業担当者を対象に、本会国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の一環として、特定保健指導におけるICTの活用をテーマとした研修会を10月に開催予定。	各保険者等の事業担当者を対象に、本会国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の一環として、特定保健指導における外部委託を行う上での保険者の役割をテーマとした研修会を10月に開催予定。		●	●	●				●			●			●					
80	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	ラジオCMを使った特定健診受診啓発を実施する。		ニッポン放送でのラジオCMを放送。特定健診受診率向上のPRのため6月、7月、10月、11月に放送予定。	ニッポン放送でのラジオCMを放送。特定健診受診率向上のPRのため6月、7月、10月、11月に放送予定。			●	●								●							
81	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	健康イベント等で活用することを目的として、ポケットティッシュの作成・配布を行う。		横浜市各区役所へ健康まつり等支援ポケットティッシュ68,000個を6月に送付済み。	横浜市各区役所へ健康まつり等支援ポケットティッシュ71,500個を6月9日に送付済み。		●	●									●		●					
82	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	健康増進に関するパンフレットやポスター、リーフレットの作成または購入・配布を行う。		特定健診受診率向上PRポスター83枚を6月に横浜市各区役所へ送付済み。	特定健診受診率向上PRポスター83枚を6月に横浜市各区役所へ送付済み。		●	●									●		●					
83	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	保険者が実施する健康づくり事業及び健康まつり事業等に対して、健康測定機器の貸出及び在宅保健師の派遣を行う。		横浜市及び各行政区の申請に応じて、随時健康測定機器を貸出、並びに在宅保健師を派遣。	健康まつり事業等は横浜市4区から申請があり、6月に2人、10月に2人、11月に2回4人、計4回8人の在宅保健師を派遣した。また、健康測定機器の貸出事業は横浜市10区から申請があり、年間で37回機器の貸出を行った。		●	●	●	●			●			●		●						
84	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	特定健診受診率向上事業及び特定保健指導実施率向上事業への支援を目的として、在宅保健師を派遣する。		保険者からの申請に応じて、在宅保健師を派遣。	横浜市及び各行政区からの申請は無かったが、その他保険者からの申請に応じて、在宅保健師を派遣した。		●	●									●							
85	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	保険者が行う生活習慣病予防・健康づくり事業への支援を目的として、連合会保健師による事業企画への助言を行うとともに、在宅保健師を派遣する。		保険者からの申請に応じて、在宅保健師を派遣。	横浜市及び各行政区からの申請は無かったが、その他保険者からの申請に応じて、在宅保健師を派遣した。		●	●	●				●				●		●					
86	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	保健指導に係る事業及び特定保健指導実施率向上への支援を目的として、在宅保健師を派遣する。		保険者からの申請に応じて、在宅保健師を派遣。	横浜市及び各行政区からの申請は無かったが、その他保険者からの申請に応じて、在宅保健師を派遣した。		●	●	●				●				●							
87	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	保険者等（後期高齢者医療広域連合含む）のデータヘルス計画がPDCAサイクルサイクルにより効果的かつ効率的に推進できるよう、有識者で組織する保健事業支援・評価委員会による助言・評価を行う。		助言を希望する保険者等の事業実施状況をヒアリングするため、保健事業支援・評価委員会部会を8月に開催予定。そのヒアリング結果を基に、書面での助言を9月に提供予定。	助言を希望する保険者等の事業実施状況をヒアリングするため、保健事業支援・評価委員会部会を7月に開催予定。そのヒアリング結果を基に、書面での助言を9月に提供予定。		●	●	●								●		●					
88	18_神奈川県国民健康保険団体連合会	健診（保健指導）、医療、介護の情報を個人単位で紐づけ、集計、分析するKDBシステムについて、より効果的、効率的に活用していただくことを目的として、実機を使った研修会を開催する。		国保データベース（KDB）システムの実機を活用した研修会として、初任者を対象とした研修会を5月に開催。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にかかる研修会を8月に開催予定。	国保データベース（KDB）システムの実機を活用した研修会として、初任者を対象とした研修会を5月に開催し、併せて研修動画の提供を行った。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施にかかる研修会を7月に開催予定。		●	●	●								●		●					
89	19_健康保険組合連合会神奈川県連合会	加盟健保が第4期特定健診・特定保健指導の目標を達成できるよう、受診率向上のための支援策を実施する。		①特定保健指導助成事業の実施 ②専門職のスキルアップ研修の実施	①特定保健指導助成事業の実施 ②専門職のスキルアップ研修の実施		●										●							
90	19_健康保険組合連合会神奈川県連合会	加盟健保が第3期データヘルス計画を確実に実行できるよう、幅広い共同保健事業を展開し支援していく。		・共同事業として、希望する健保組合に対し各種保健事業を展開する。（詳細別紙） ・事業主との協力により、データヘルス計画を効率的・効果的に実施できるよう、健康経営の促進を図ることで支援していく。 ①健康企業宣言事業説明会の開催 ②健康経営サポート事業の展開 ⇒保健事業の提供/相談窓口の設置	・共同事業の展開 4つの保健事業に延べ21健保2,161名の参加で実施したことに加え、新規に健康ポータル動画を提供し、30健保の参加があった。 ・健康経営への取組み ①健康企業宣言事業説明会を6月に31健保61名の他、事業所からも71社116名の参加で開催 ②健康経営サポート事業の2つの保健事業に計6社206名が参加した。 相談窓口の相談件数は5件であった。	・共同事業の拡大展開する他、「女性特有の健康課題への支援」、「アウトリーチ」の取組みを進める。 ①「女性特有の健康課題への支援」として、国の補助金を活用した共同事業の展開 ②「アウトリーチ」として、全国フィットネス協会と協働して、「全国フィットネス協会年齢測定体験会」の実施 ・健康経営への取組みとしては、 ①健康経営サポートの開催 ②健康経営サポートの開催 ③事業所の健康経営推進に役立つ情報提供のためHPにリンク集を設置	●	●	●	●	●	●	●											


3371652816141025251425141421

第 3 期健康横浜 2 1 関係課長会議の議事報告について

会議日時：令和 7 年 7 月 28 日（月）午前 9 時 00 分～午前 10 時 15 分

議事内容：第 3 期健康横浜 2 1 に係る関係課の令和 7 年度の主な取組を共有

No.は資料 1 の裏面名簿と一致

No.	局課名	主な発言内容
1	旭区福祉保健課 (区代表)  あさひくん	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりの取組は、広報・プロモーションが重要。 各区では、働き・子育て世代向けの動画の作成をはじめ、周知方法としては、パマトコ（横浜市子育て応援アプリ）も大いに活用している。 旭区では、X と LINE を積極的に活用している。区のマスコットの「あさひくん」のぬいぐるみを一緒に投稿するとインプレッション数が増える傾向があった。 地元の企業や商店街にも協力を得ることで企業の考え方を踏まえて、取組を広げることができる。
2	政策経営局 経営戦略課	<ul style="list-style-type: none"> このような場（関係課長会議）を活用して、適宜、情報共有や連携ができればよいと感じた。
3	にぎわい スポーツ文化局 スポーツ振興課	<ul style="list-style-type: none"> 親子ラグビー教室を秋以降に 3 回、新横浜で実施予定。 市民大会/市民マスタース大会の開催を昨年度から継続。8 月 2 日と 8 月 3 日に、スポーツ協会と連携し、金沢区でビーチスポーツフェスタを開催。 今年度力を入れること：インクルーシブスポーツとしてボッチャの大会を開催。
4	経済局 中小企業振興課	<ul style="list-style-type: none"> 健康推進課と連携し、健康経営を推進している。市内 3 か所の健康経営の拠点（ウェルネスセンター）で健康管理担当者や従業員向けのセミナーを開催。 今年度力を入れること：女性の健康づくりや働き世代のがん対策（治療と仕事の両立支援など）に関するセミナーを開催。
5	こども青少年局 企画調整課	<ul style="list-style-type: none"> パマトコは、昨年妊娠・出産した人の 95% がダウンロードしている。細かく対象を絞ることもできるので、啓発用ツールとしてぜひ活用いただきたい。
6	こども青少年局 地域子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> 現在の妊婦歯科健診受診率は 45.8% だが、50% 以上になるよう、産婦人科医会やパマトコを活用した周知を行い、受診率向上を図る。 母子手帳交付時は、家族の健康を見直す良い機会でもあるので、妊娠中の喫煙・飲酒についての啓発を継続。 乳幼児健診は受診率が高い。保護者のみへの啓発ではなく、将来的にその子どもがセルフケアできるような啓発を実施する。
8	健康福祉局 福祉保健課	<ul style="list-style-type: none"> 第 5 期地域福祉保健計画の推進に力を入れている。リーフレットも作成し、令和 7 年 6 月からは区役所や地域ケアプラザで配布している。
10	健康福祉局 生活支援課	<ul style="list-style-type: none"> 生活保護受給者に対する健康支援を行い、生活保護の方の生活や受療行動をフォローしている。 生活習慣病の早期発見や重症化予防、受給者自身の健康について理解を深められるよう着実に支援していく。
12	健康福祉局 こころの健康 相談センター	<ul style="list-style-type: none"> アルコールに関する普及啓発、依存症の相談窓口の対応。 第 2 期自殺対策計画に基づき、若者の自殺に対する対応を強化していく。
13	健康福祉局 高齢健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> よこはまポジティブエイジング計画に基づき取組を推進中。 行政からの情報が届きにくい方に、いかに情報を届けるかが大事だと考えている。

No.	局課名	主な発言内容
14	健康福祉局 地域包括ケア推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のフレイル予防の普及啓発について、民間企業と連携し、パッケージ化して普及啓発を進めている。 ・フレイル予防の認知度向上を目的に、11月に横浜そごうでフレイル予防のイベントを実施予定。当事者のみではなく、通いの場等で活動している人にも何か持ち帰ってもらえるイベントにする予定。 ・令和6年度から市薬剤師会と委託契約を締結し、身近な場所での健康づくりミニ講座を実施している。
15	医療局 医療政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・XやLINEなどのSNSを活用して、最終的には、多くの情報が載っている市ホームページへ誘導したいと様々な工夫をしているが、具体的な行動変容に移っているかの評価が難しい。成功事例があったら、ぜひ情報共有していけると良い。
16	医療局 がん・疾病対策課	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる全市民に対し、がん検診受診勧奨通知を発送するなど、がん検診受診率60%を目標に様々な取組を進めている。 ・令和7年度から、子宮頸がん検診の無料対象者の年齢を拡大。
17	医療局 健康安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度は、新興感染症について障がい者や外国人向けのチラシの作成やSNSを活用した啓発を行った。令和7年度は高齢者向けの啓発を予定している。 ・麻疹や百日咳が流行中。随時正しい健康づくり情報を啓発することで健康行動につながるようにSNSなどを活用して発信していきたい。
18	医療局 食品衛生課	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養成分表示の活用方法や食中毒の危険性について周知するため、小学校給食の献立への掲載や、動画を活用したPR等を行っている。 ・食品衛生協会と連携し食中毒予防キャンペーンを実施。また、家庭での食中毒予防に関する啓発を各区で実施。（区民まつりなどでも実施） ・今年度力を入れること：びん・缶・レトルト食品の衛生管理に関する講演を11月に開催予定。働く女性も多いので、興味を持ってもらえるのでは。
19	医療局 衛生研究所 感染症・疫学情報課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に関するデータの分析を実施。局や区からの相談に対応している。また、乳幼児健診でとったアンケートの解析なども実施している。
20	みどり環境局 農業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度はま菜ちゃん料理コンクールは、「サツマイモ」を使用した学校給食のメニューを募集。毎年2,500件ほどの応募がある人気のイベント。 ・市内産農畜産物を小学校給食に取り入れる取り組みを実施。今年度供給予定の食材である「キャベツ」について、食育につながる内容を盛り込んだPRポスターを、JA横浜と共同で作成・配布する予定。
21	みどり環境局 公園緑地維持課	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い夏でも公園で遊びたいというニーズがある。そこで、令和7年度から、市のホームページに水遊びができる公園やミスト設備がある公園をまとめて掲載したほか、パマトコやXでも周知を行っている。
22	建築局 住宅政策課	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と住宅の関係性（省エネ住宅に住むと、冬場のヒートショックや夏場の熱中症の予防にも大きくつながるなど）について区とも連携しながら周知をしている。 ・新築住宅だけでなく、既存住宅にも啓発を進めていきたい。
23	道路局 道路政策推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・シェアサイクルは健康増進にもつながる。令和7年度から本格実施をしており、ポートを加速度的に増やしている。
25	教育委員会事務局 学校給食・食育推進課	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校給食メニューコンクール：中学生自身が健康課題を考えて、メニューを考える仕組み。例年3,000件程度の応募があり、保護者からも好評。生徒自身が食生活や健康について考えるきっかけとしていきたい。